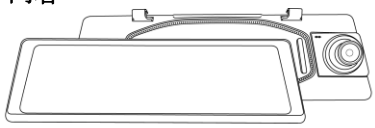
2021.4

取扱説明書
ルームミラー　一体型ドライブレコーダー

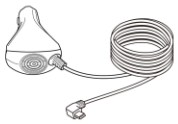
※本取扱説明書は、『ルームミラー　一体型ドライブレコーダー・リアカメラセット（＃１１２１５６００００)』と『ルームミラー　一体型ドライブレコーダー（＃１１２１５６２０００)』の取扱説明書になります。
『ルームミラー　一体型ドライブレコーダー・リアカメラセット（＃１１２１５６００００)』をご購入のお客様は『リアカメラセット』の説明も参照してください。

１，セット内容と各部名称

●セット内容

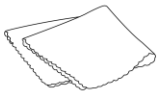

ルームミラーモニター一体型
ドライブレコーダー本体

モニター固定バンド×２本


電源プラグ付き電源コード

GPS ユニット

microSD カード (32GB)


クロス

リアカメラセット

リアカメラ本体

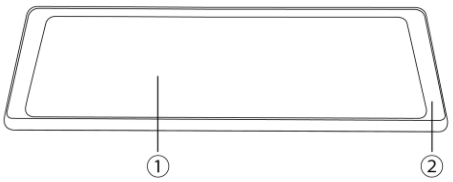
リアカメラ用
延長ステー

リアカメラ用両面テープ、
タッピングネジ×２本

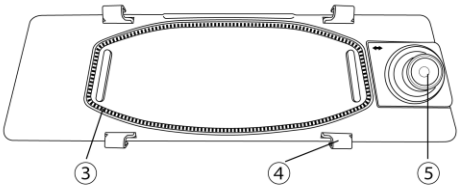
リアカメラ用
１５m 防水延長コード

●各部の名称と主な働き

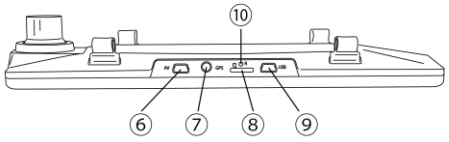
正面



背面



上面



下面

①液晶モニター（タッチパネル式）
②ルームミラー
　ルームミラーの周囲部分はタッチパネル非対応です。
③スピーカー
　音声を出力します。
④固定用フック
　モニター固定バンドを取り付けします。
⑤フロントカメラ
　フロント側のビデオや静止画像を撮影します。
⑥リアカメラ接続ソケット（ＡＶ）
　リアカメラ使用時に、リアカメラ用１５m防水延長コードを接続します。
　※電源プラグ付き電源コードを誤って接続しないように注意してください。
⑦ＧＰＳユニット接続ソケット
　ＧＰＳユニットを接続します。
⑧microSD カードスロット
　microSD カードを挿入します。
⑨電源プラグ付き電源コード接続ソケット（ＵＳＢ）
　電源プラグ付き電源コードを接続します。
　※リアカメラ用１５m防水延長コードを誤って接続しないように注意してください。
⑩リセットボタン
　本製品が正しく作動しなくなった場合、システムリセットを行なうことで再起動します。
⑪マイク
　周辺の音声を集音します。

2，microSD カードの取り扱い

●microSD カードの挿入方法

※本商品の電源が切れていることを確認してから作業を行ってください。

付属の microSD カードの端子面をリセットボタン側に向けて、microSD カードスロットに“カチ”と音がするまで差し込んでください(図１参照)。

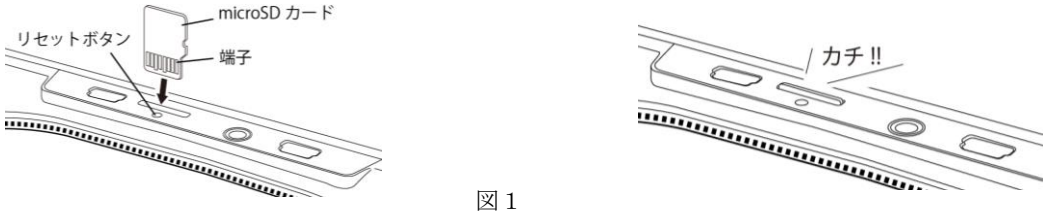


図１

●microSD カードの取り出し方法

microSD カードスロットに挿入されている microSD カードの上端を、“カチ”と音がするまで奥へ軽く押し込んでください。

microSD カードを取り出す事ができます(図２参照)。

図２

●最大録画可能時間

microSD カード容量		８GB	１６GB	３２GB	６４GB	１２８GB
最大録画可能時間	１０８０P	約６０分	約１６０分	約３４０分	約７２０分	約１４６０分
	７２０P	約１２８分	約２９０分	約６４０分	約１３２０分	約２６８０分

図３

・リアカメラセット使用時の最大録画可能時間は、図３記載の半分の録画時間となります。

・最大録画可能時間は、あくまでも目安の値となります。録画環境によって、録画時間に差が生じます。

・最大録画可能時間は、常時録画／イベント録画／静止画を含めた録画時間となります。

・常時録画／イベント録画共通で、microSD カードの録画領域がなくなると、古いファイルから順に消去して録画を続けます。

※イベント録画の録画領域は十分に確保されており、すぐに上書き録画されることはありません。

・保存しておきたい録画ファイルは『７，バックアップ方法』を参照し、パソコンでバックアップを作成してください。

・microSD カード内の約２ＧＢの容量は、常にシステム領域として確保されている為、録画使用できません。

●microSD カードのフォーマット方法

※初めて使用する際は、必ず本商品を使用して microSD カードのフォーマットを行ってください。また、microSD カードに保存されたファイルは、バックアップして、定期的（1 週間に 1 回推奨）に本商品を使用してフォーマットしてください。

※フォーマットをする際は、録画を停止する必要があります。予め、ご了承ください。

※**フォーマットすると、microSD カード内の全てのファイルが消去されます。**ご注意ください。

1) 液晶モニターの【 ◎ 】アイコンをタッチして録画を停止し、メニュー設定アイコン【 ⚙ 】をタッチすると、メニュー設定画面に切り替わります（『４，使用方法　●液晶モニター表示と操作』を参照)。
2) メニュー項目から『メモリーカード』を選択してください（図４-①参照)。
3) 使用状況確認画面で『フォーマット』をタッチしてください（図４-②参照)。
4) フォーマット実行画面で再度フォーマットに同意し、『フォーマット』をタッチしてください（図４-③参照)。
   ※本作業後は、フォーマット作業を中止することはできません。
5) しばらくするとフォーマットが完了し、microSD カード内の全てのデータが消去されます。
6) 『フォーマット完了』をタッチし、作業を完了してください（図４-④参照)。

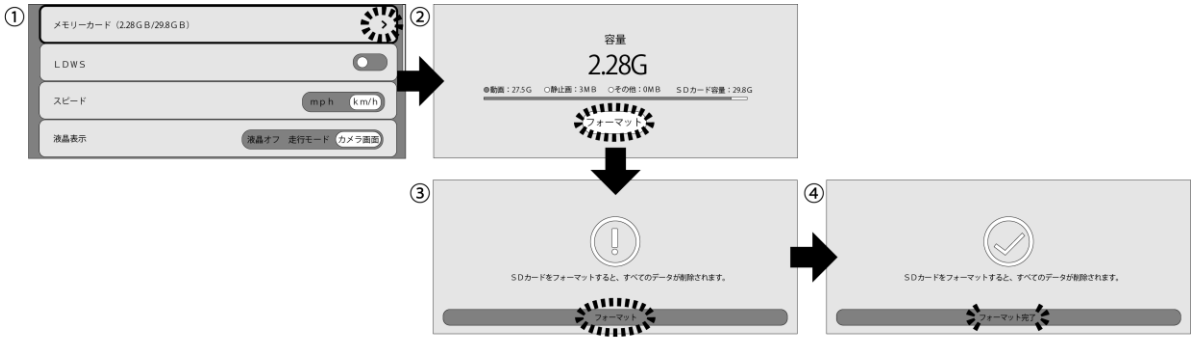


図４

３，取付方法

●取付推奨位置(フロントガラス)、純正ルームミラーへの取付イメージを参考に取付位置を決めてください(図５参照)。

・フロントガラスの上縁であって、車両中心面と平行な面上のガラス開口部の実長２０％以内の範囲の位置。
・運転支援システム、衝突安全装置等の動作に影響を及ぼさない位置。
・運転者の前方視界の妨げにならない位置。
・車検ステッカーと重ならない位置。
・フロントカメラがワイパーの拭き取り範囲に入る位置。
・フロントカメラが前方および左右に対して水平方向を向く位置。

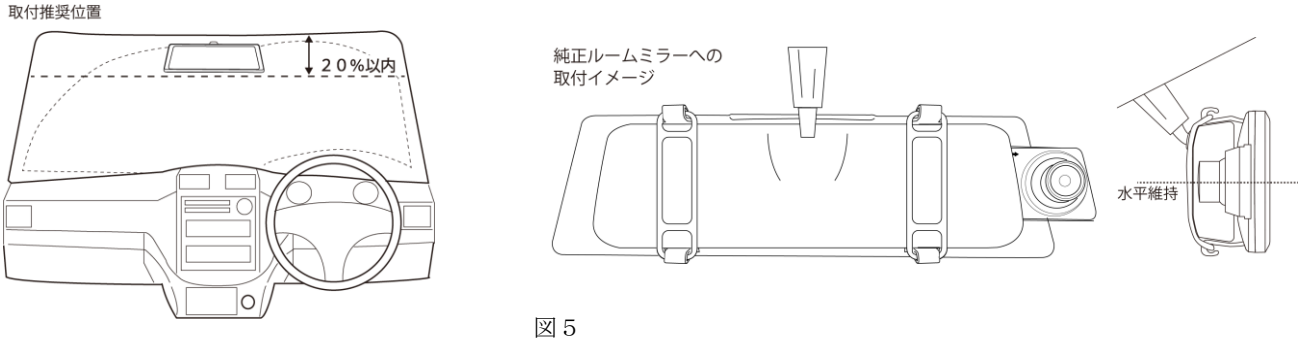


図５

1) 本商品を車両へ取り付けする前に、必ず作動テストを行い、正常に作動する事を確認してください。
2) モニター固定バンド×２本を固定用フックの上側に掛けてください（図６参照)。
3) 純正ルームミラーを挟み込むように、１）で取り付けしたモニター固定バンド×２本をルームミラーの背面を通して固定用フックの下側に掛けてください（図７参照)。
その際、フロントカメラがルームミラーに接触する場合は、横方向へ引出してください。また、フロントカメラは上下左右方向に角度の微調整を行うことができます（図８参照)。
4) 本商品が純正ルームミラーへ確実に取付されていることを確認してください。
固定が緩い場合は、モニター固定バンドの固定用フック掛け位置を変更してください。

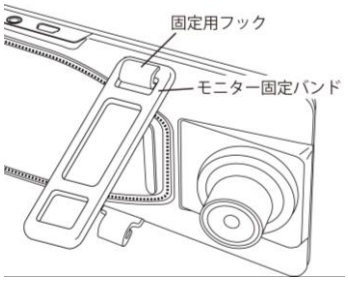


図６

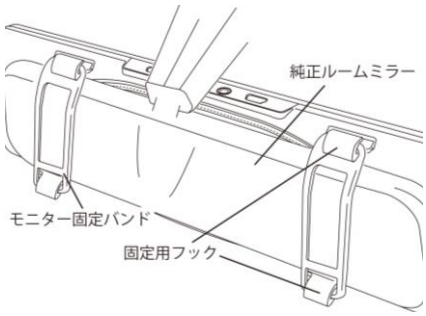


図７

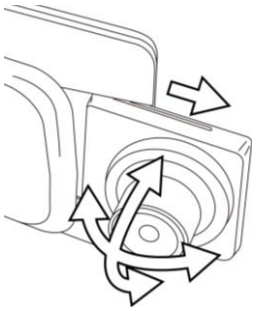


図８

5) 電源プラグ付き電源コードのプラグを電源プラグ付き電源コード接続ソケット（ＵＳＢ）へ、電源プラグを車両側のアクセサリーソケットにそれぞれ差し込んでください(図９、１１参照)。
※電源プラグ付き電源コードを切断して使用しないでください。プラグ内で変圧しています。
6) ＧＰＳユニットのプラグをＧＰＳユニット接続ソケットへ差し込み、ＧＰＳユニット本体は液晶モニターから距離を取り、ダッシュボードの上などの水平な場所へ、ユニット裏面の両面テープを使用して取り付けしてください（図１０、１１参照)。
※ＧＰＳユニットを取り付けする際は、ダッシュボード上の油分や汚れをしっかり拭き取ってください。
7) コード類はピラー内等を通し、運転の妨げにならないように配線処理してください。必要に応じてコードクリップ等(付属していません)で配線を固定してください(図１１参照)。

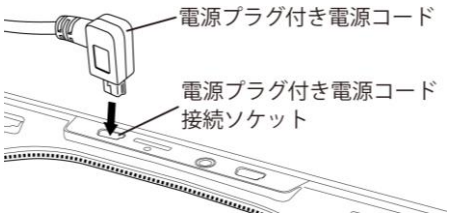


図９

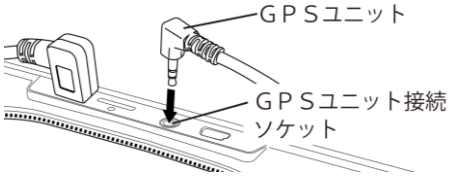


図１０

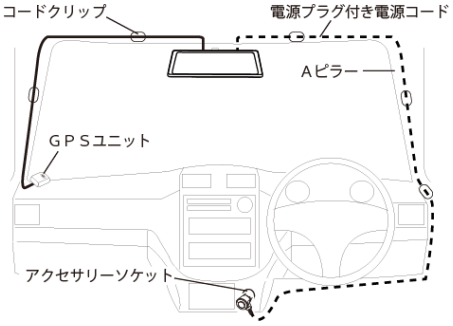


図１１

●リアカメラセット配線方法と取付方法

・リアカメラセットを使用する場合は、リアカメラ用１５m防水延長コードのプラグをリアカメラ接続ソケット（ＡＶ）へ差し込んでください（図１２参照)。
・リアカメラを取り付けする前に、配線を仮接続し、カメラの上下向きを確認してください。
・リアカメラをバック連動のバックカメラとして使用する場合は、車両のバックランプ配線のプラス線にリアカメラ用１５m防水延長コードの赤色配線を接続してください。その際、赤色配線はＤＣ１２／２４Ｖ配線のどちらに接続しても問題ありません（図１３参照)。

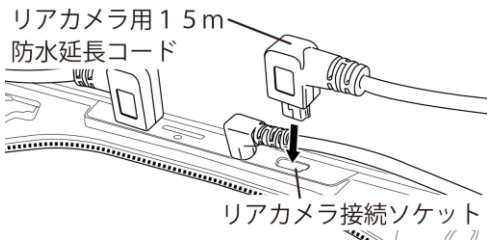


図１２

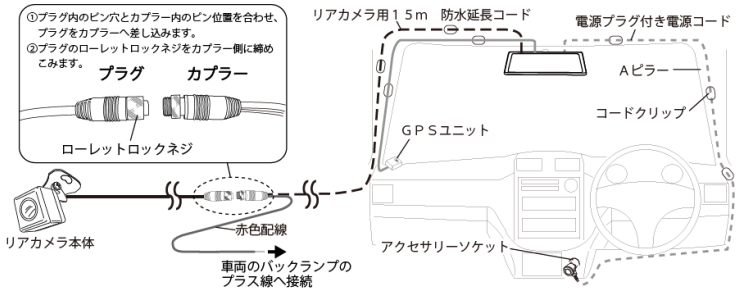


図１３

○リアカメラを車内で使用する場合

1) リアカメラ用１５m防水延長コードを車内配線し、カメラ側カプラーとリアカメラのプラグのピンとピン穴を合わせて奥まで確実に差し込んでください。そして、リアカメラ側のローレットロックネジを時計回転方向に回して確実に締めこんでください（図１３参照)。
2) 付属の両面テープを使用して、リアカメラをリアガラスの内側に取り付けしてください（図１４参照)。
※リアカメラを取り付けする際は、リアガラスの油分や汚れをしっかり拭き取ってください。
3) リアカメラの角度を調整する場合は、ブラケット・延長ステーを固定している各プラスネジ（Ｓワッシャ付）を反時計回転方向に回して緩め、任意の角度に調整してください。調整後、各プラスネジ（Ｓワッシャ付）を時計回転方向に回して確実に締め付けてください（図１４参照)。
4) コード類は内張り、ピラー内等を通し、運転の妨げにならないように配線処理してください。必要に応じてコードクリップ等(付属していません)で配線を固定してください(図１３参照)。
また、コード類を無理に折り曲げたり、挟まないよう注意してください。
※光の差し込み具合などにより、車内がリアガラスに映り込み、映像が確認しにくい場合があります。
※リアガラスの電熱線と重ならない位置へ取り付けしてください。

○リアカメラを車外で使用する場合

1) リアカメラを車外で使用する場合は、必要に応じて、リアカメラのコードを通す穴、及び、カメラブラケットを固定する穴の位置決めをして、穴開け加工をしてください。
2) リアカメラのコードを、1)で開けた穴に車外側より通し、車内配線したリアカメラ用１５m防水延長コードのカメラ側カプラーとリアカメラのプラグのピンとピン穴を合わせて奥まで確実に差し込んでください。
そして、リアカメラ側のローレットロックネジを時計回転方向に回して確実に締めこんでください。締め込みが不完全な場合、中に水が入り、故障の原因となります（図１３参照)。
また、接続したカプラー・プラグ部は極力車外には出さないでください。
3) 付属のタッピングネジ、両面テープを使用して、リアカメラを車両に取り付けしてください（図１４参照)。
※リアカメラを取り付けする際は、取り付け部分の汚れをしっかり拭き取ってください。
4) リアカメラの角度を調整する場合は、ブラケット・延長ステーを固定している各プラスネジ（Ｓワッシャ付）を反時計回転方向に回して緩め、任意の角度に調整してください。調整後、各プラスネジ（Ｓワッシャ付）を時計回転方向に回して確実に締め付けてください（図１４参照)。
※リアカメラを車外に取り付けする際、延長ステーが不要の場合は取り外して使用してください。
5) コード類は内張り、ピラー内等を通し、運転の妨げにならないように配線処理してください。必要に応じてコードクリップ等(付属していません)で配線を固定してください(図１３参照)。
また、コード類を無理に折り曲げたり、挟まないよう注意してください。

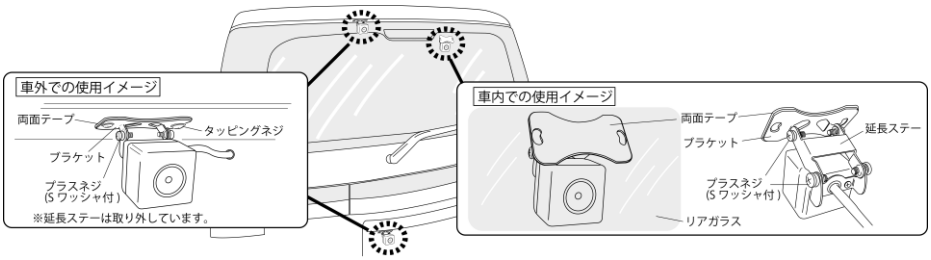


図１４

４，使用方法

●電源のＯＮ／ＯＦＦ

1) 『３，取付方法』の手順通りに配線された状態で、車両のエンジンを掛けてください。
2) 電源プラグ付き電源コードの通電ＬＥＤが緑色に点灯し、本商品の電源が自動的にオンになり液晶モニターにオープング画面が表示されたのちシステムが起動します（図１５参照)。
3) エンジンを停止させると、液晶モニターに５秒間のカウントダウンが表示され、電源が自動的にオフになります。

※本商品には、駐車衝撃録画作動用の内蔵バッテリーが搭載されています。内蔵バッテリーは、電源プラグ付き電源コードを接続して本商品使用中に、自動的に充電されます。

図１５

●液晶モニター表示と操作

○カメラ映像表示画面

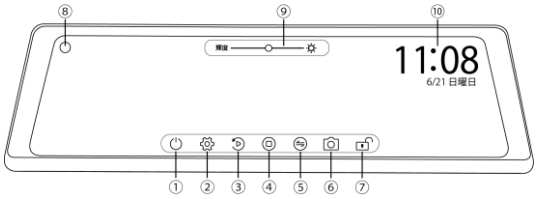


図１６

○走行モード画面

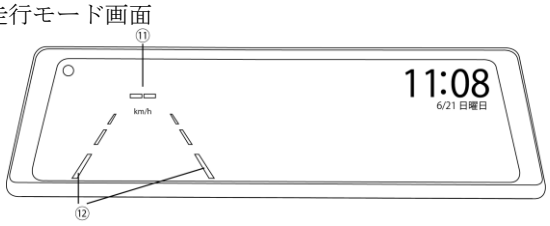


図１７

①液晶表示切替アイコン　：アイコンをタッチすると、走行モード画面に切り替わります（図１７参照)。
また、アイコンを２秒以上タッチすると、液晶表示をオフにすることができます。
※液晶モニターをタッチすると、カメラ映像表示画面に戻ります。

②メニュー設定アイコン　:アイコンをタッチすると、メニュー設定画面に切り替わります(『５，メニュー設定一覧』参照)。
※メニュー設定画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。

③ファイル再生アイコン　：アイコンをタッチすると、microSD カード内に記録したファイルの再生画面に切り替わります（『●ファイルの再生』を参照)。
※再生画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。

④録画開始／停止アイコン：アイコンをタッチすると録画の開始／停止を操作できます。
【 ◎ 】: 録画中　　【 ◎ 】: 録画停止中

⑤カメラ切り替えアイコン：液晶モニターに表示するカメラ映像をフロント／リアで切り替えることができます。
※リアカメラ未使用時は、下記内容が表示され、カメラ映像を切り替えることはできません。
『CAUTION　リアカメラが接続されていません。』

⑥静止画像撮影アイコン　：アイコンをタッチすると、カメラで静止画像を撮影します（『●静止画像撮影』を参照)。
※リアカメラ使用時は、フロント／リアの静止画像を同時に撮影します。

⑦イベント入力アイコン　：アイコンをタッチすると、常時録画中の映像を緊急録画（イベント録画）として保護します（『●各種録画について』を参照)。
【 🔓 】: 常時録画中　　【 🔒 】: イベント録画中
※Ｇセンサーで衝撃を感知し衝撃録画(イベント録画)作動時もアイコン表示は上記同様です。

⑧録画アイコン　　：常時録画中は、赤色に点滅し、イベント録画中は、黄色に点滅します。

⑨明るさ調整アイコン　：液晶モニターの『明るさ』設定を『手動』に設定している際は、液晶モニターを指で横にスライド操作することで画面の明るさを調整することができます（図１８参照)。

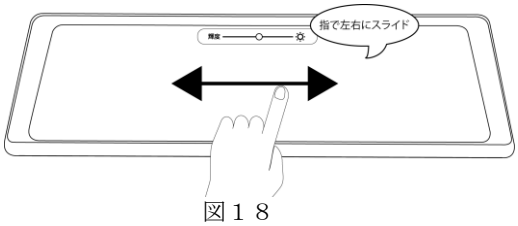


図１８

⑩日時表示　　：ＧＰＳユニットを接続している場合は、自動的に日付／曜日／時刻が設定されます(『５，メニュー設定一覧』参照)。

⑪速度表示　　：ＧＰＳが正常に受信されていると、取付車両の速度を表示します。
※本商品の速度表示と実車の速度メーターの表示で、誤差が発生する場合があります。
予め、ご了承ください。

⑫車線逸脱アイコン　：走行車線を逸脱した際に、音声アラームとともに、アイコンが赤く点滅します。(『６，各種設定機能説明　●ＬＤＷＳ』を参照)。

○表示映像の位置調整

カメラ映像表示中に、液晶モニターを指で縦にスライド操作することで表示映像の上下位置を調整することができます（図１９参照)。
※フロントカメラ、リアカメラそれぞれで調整することができます。
※上下位置調整後は、次回以降も同じ位置で表示されます。

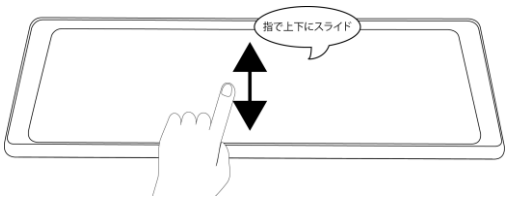


図１９

●静止画像撮影

1)　液晶モニターをタッチし、各種アイコンを表示後、静止画像撮影アイコン【 📷 】をタッチしてください。
2)　アイコンをタッチすると、シャッター音が鳴り、カメラで静止画像を撮影します。
※録画中に静止画像を撮影しても録画は中断されません。
※リアカメラ使用時は、フロント／リアの静止画像を同時に撮影します。

●各種録画について

・常時録画／イベント録画共通で、microSD カードの録画領域がなくなると、古いファイルから順に消去して録画を続けます。
※イベント録画の録画領域は十分に確保されており、すぐに上書き録画されることはありません。
※各種録画の動作状況に関しては、図２０を参照してください。

○常時録画（ループ録画）

1) 本商品が起動すると同時に、液晶モニターの左上の録画アイコンが赤色に点滅し、常時録画が自動的に開始します。
2) 常時録画では設定した時間ごと(『５，メニュー設定一覧』参照)にデータを分割して連続で録画します。
microSD カードの録画領域がなくなると、古いデータから順に消去して録画を続けます。
3) 録画を開始／停止するときは、液晶モニターをタッチし、各種アイコンを表示させ、【 ◎ 】【 ◉ 】アイコンをタッチして操作してください。

○動体検出録画

※動体検出録画は、動体検出時のみ録画を行う為、microSD カードの容量節約や寿命を延ばす効果があります。
※動体検出録画の作動条件として、『駐車監視』を設定する必要があります（『○イベント録画　・駐車衝撃録画』参照）。

1) 常時録画（ループ録画）中に、フロント（リア）カメラが約５分間以上動体を検出しなかった場合、液晶モニターが消灯し動体検出スタンバイ状態に切り替わります。
2) フロント（リア）カメラが動体を検出すると、『ピッ』と音が鳴ったのち動体検出録画を開始します。動体検出録画は、動体を検出している間は作動し続け、検出しなくなると自動的に録画を停止し、スタンバイ状態に戻ります。
※動体検出録画中は、液晶モニターは作動しません。
※液晶モニターをタッチ、または車両が動き出すと動体検出録画は解除されます。

○イベント録画

・衝撃録画

1) 常時録画（ループ録画）中に、突発的な衝撃や予期しない衝突などを感知し、内蔵のＧセンサーが作動した場合(Ｇセンサーを低・高に設定)、常時録画を中断し、その時点のファイルをイベント録画ファイルとして録画します。イベント録画後は、自動的に常時録画に戻ります。
2) 衝撃を感知すると、『ピピッ』と音が鳴り、イベント入力アイコン表示が【 🔓 】から【 🔒 】に切り替わり、アイコンが黄色に点灯します。また、イベント録画中は、液晶モニターの左上の録画アイコンが黄色に点滅します。
3) 常時録画開始後１０秒以内にＧセンサーが作動した場合は、その時点のファイルに加え、さらにその前の１ファイルもイベント録画ファイルとして録画します。常時録画終了前１０秒以内にＧセンサーが作動した場合も同様に、その時点のファイルに加え、その後の１ファイルをイベント録画ファイルとして録画します。

・緊急録画

1) 常時録画（ループ録画）中にイベント録画を行いたい場合は、液晶モニターをタッチし、各種アイコンを表示後、イベント入力アイコン【 🔓 】をタッチしてください。
2) アイコンをタッチすると『ピピッ』と音が鳴り、アイコン表示が【 🔒 】に切り替わりイベント録画を手動で行ないます。ファイルの録画条件は、『○イベント録画　・衝撃録画』と同様です。

・駐車衝撃録画

1) 車両のエンジンを停止（ＡＣＣオフ）中に、内蔵のＧセンサーが衝撃を感知した場合、本商品が素早く起動し、起動後約１０秒間のファイルをイベント録画ファイルとして録画します。イベント録画後は、自動的に本商品の電源はオフになります。
※駐車衝撃録画作動中は、液晶モニターは作動しません（液晶モニターをタッチすると電源オフまでのカウントダウンを表示します)。
2) 駐車衝撃録画中に再度衝撃を感知した場合は、その時点から追加で約１０秒間イベント録画します。

※出荷時は『駐車監視』設定は『オフ』になっています。駐車衝撃録画を行う場合は、設定を行ってください。
※『駐車監視』を設定すると、『○動体検出録画』も同時に設定されます（『○動体検出録画』を参照)。
※駐車衝撃録画は、内蔵バッテリーで作動します。内蔵バッテリーの充電状態によって録画可能時間は異なります。
本商品出荷時は内蔵バッテリーは充電されていません。『３，取付方法』を参照して配線し使用することで内蔵バッテリーは充電されます。
※車両のドアを閉めた際の振動で駐車衝撃録画が作動することがあります。
※本機能は、衝撃を感知してから録画を開始します。衝撃前、衝撃時の映像は録画されません。
※設定詳細に関しましては、『５，メニュー設定一覧』を参照してください。

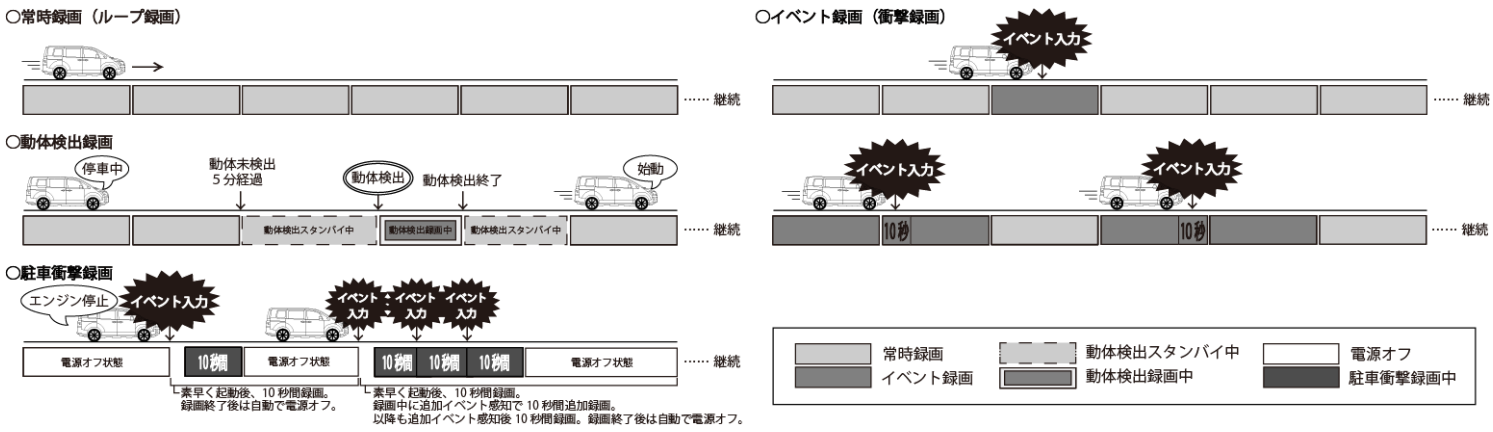


図２０

●ファイルの再生

○再生方法

※再生画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。予め、ご了承ください。

1) 液晶モニターをタッチし、各種アイコンを表示後、【 ⏺ 】アイコンをタッチして録画を停止してください。
2) ファイル再生アイコン【 ▶ 】をタッチして再生画面を表示してください。
3) フォルダを選択後、ファイルをスクロールして再生したいファイルを選択してください。
   ※静止画像は、選択した時点でサムネイル画面に表示されます。
4) 再生ボタンを押してください。選択したビデオファイルを再生する事ができます。

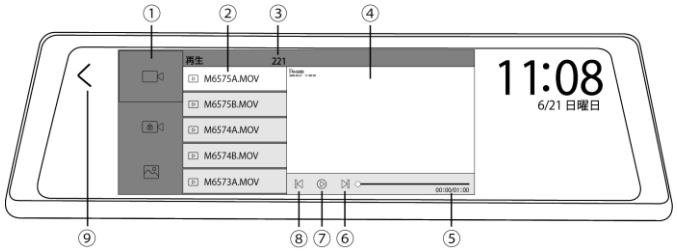


図２１

①フォルダ選択　：常時録画フォルダ／イベント録画フォルダ／静止画像フォルダの種類を選択します。
　【 📹 】: 常時録画　【 🔒📹 】: イベント録画　【 🖼 】: 静止画像
②ファイル選択　：記録されたファイルを一覧で表示し、再生したいファイルを選択します。
③ファイル数　　：選択されているフォルダ内のファイル数を表示します。
④サムネイル画面：選択したファイルを表示（再生）します。
⑤ファイル時間　：選択したファイルの時間を表示します。
⑥次へ　　　　：次のファイルを表示します。
⑦再生／一時停止：ビデオファイルの再生／一時停止を操作できます。
⑧前へ　　　　：前のファイルを表示します。
⑨戻る　　　　：再生画面を閉じ、常時録画（ループ録画）を自動的に再開します。

○フォルダ、ファイル名について

・常時録画フォルダ内に記録されるファイル
1) 常時録画（ループ録画）
　フロントカメラファイル：Ｍ＊＊＊＊Ａ．ＭＯＶ　　リアカメラファイル：Ｍ＊＊＊＊Ｂ．ＭＯＶ
2) 動体検出録画
　フロントカメラファイル：Ｖ＊＊＊＊Ａ．ＭＯＶ　　リアカメラファイル：Ｖ＊＊＊＊Ｂ．ＭＯＶ

・イベント録画フォルダ内に記録されるファイル
1) 衝撃録画／緊急録画／駐車衝撃録画
　フロントカメラファイル：Ｓ＊＊＊＊Ａ．ＭＯＶ　　リアカメラファイル：Ｓ＊＊＊＊Ｂ．ＭＯＶ

・静止画像フォルダ内に記録されるファイル
1) 静止画像
　フロントカメラファイル：Ｄ＊＊＊＊Ａ．ＪＰＧ　　リアカメラファイル：Ｄ＊＊＊＊Ｂ．ＪＰＧ

○ファイルの削除／保護（ロック）方法

録画したビデオファイルや撮影した静止画像の消去、又は保護を行ないます。

1) 再生画面を表示（『●ファイルの再生　○再生方法』を参照）し、ファイルを１秒以上長押しでタッチすると、処理項目が表示されます（図２２参照）。
2) 処理項目をタッチして選択してください（図２３参照）。

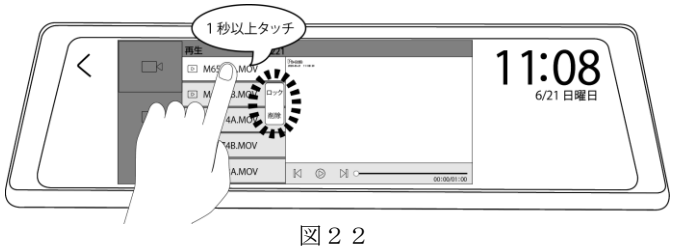


図２２

常時録画ファイル	ロック	ファイルは保護され、イベント録画フォルダへ移動します（ファイル名は変更されます）。
	削除	ファイルは削除されます。
イベント録画ファイル	解除	保護は解除され、常時録画フォルダへ移動します（ファイル名は変更されます）。
	削除	ファイルは削除されます。
静止画像ファイル	削除	ファイルは削除されます。

図２３

※削除したファイルは、復元することはできません。
※フォーマットを行なうと、保護（ロック）したファイルを含む全てのファイルが消去されます。ご注意ください。

5，メニュー設定一覧

※メニュー設定画面へ切り替える際は、録画を停止する必要があります。予め、ご了承ください。

1) 液晶モニターをタッチし、各種アイコンを表示後、【◎】アイコンをタッチして録画を停止してください。
2) メニュー設定アイコン【⚙】をタッチしてメニュー設定画面を表示してください。
3) 下記一覧表の内容を参考に設定してください。

(◆)：出荷時の設定です。

メニュー項目	機能説明	選択項目	設定内容
メモリーカード	microSDカード内の使用状況を確認することができます。	フォーマット	フォーマット選択で、カード内のファイルをフォーマットします。 ※詳細は、『2，microSDカードの取り扱い　●microSDカードのフォーマット方法』を参照。 ※フォーマットする前に重要なファイルをパソコンなどにバックアップしてください。
ＬＤＷＳ	運転サポートシステムを設定することができます。	オン／オフ(◆)	オンを選択すると、車両が４５ｋｍ／ｈ以上で走行中に走行車線を逸脱した場合、音声アラームやアイコン表示で警告します。 ※詳細は、『6，各種設定機能説明　●ＬＤＷＳ』を参照。
スピード	走行モード画面時の速度単位を選択することできます。	・ｍｐｈ ・ｋｍ/ｈ(◆)	マイル表示に設定します。 キロメートル表示に設定します。
液晶表示	起動中の液晶モニター表示を選択することができます。	・液晶オフ ・走行モード(◆) ・カメラ画面	設定後、約３０秒で液晶モニターが消灯します。 設定後、約３０秒で走行モード画面表示に切り替わります。 本商品起動中は、カメラ映像を表示します。 ※設定直後は液晶モニターをタッチし、各種アイコンを表示後、【⇌】アイコンをタッチしてカメラ映像を表示する必要があります。 ※リアカメラ使用時は、設定後リアカメラ映像が優先的に表示されます。
日付／時間	日付／時間の設定を行います。	・ＧＰＳ自動設定(◆) ・手動設定 ・２４時間制(◆)	ＧＰＳユニットを接続している場合、自動的に設定します。 ※タイムゾーンは、『ＵＴＣ　＋０９：００』に設定してください。 手動で設定します。 １２時間制表示／２４時間制表示を設定します。
録画解像度	フロントカメラの録画解像度を設定することができます。	・１０８０Ｐ(◆) ・７２０Ｐ	ＦＨＤサイズ(約２００万画素)に設定します。 ＨＤサイズ(約９０万画素)に設定します。
ループ録画	常時録画(ループ録画)による1ファイルあたりの録画時間を設定することができます。	・１分(◆) ・２分 ・３分	１ファイル１分間として録画を行ないます。 １ファイル２分間として録画を行ないます。 １ファイル３分間として録画を行ないます。
Ｇセンサー	車両への衝撃を検出する感度を設定することができます。	・オフ ・低(◆) ・高	Ｇセンサー機能は作動しません(衝撃を検出しません)。 低感度に設定します。 高感度に設定します。
駐車監視	駐車中の車両への衝撃を検出する感度を設定することができます。	・オフ(◆) ・低 ・高	駐車監視機能（動態検出録画）は作動しません。 低感度に設定します。 高感度に設定します。 ※詳細は、『4，使用方法　●各種録画について』を参照。
音量	スピーカー音量や操作音量を設定することができます。	・オフ ・小(◆) ・大	音声は鳴りません。 音声小に設定します。 音声大に設定します。
操作音	本体操作音の有無を設定することができます。	オン／オフ(◆)	操作音のオン／オフを設定します。
明るさ	液晶モニターの明るさを調整することができます。	・手動(◆) ・自動	任意の明るさに手動で調整します。 ※調整方法は、『4，使用方法　●液晶モニター表示と操作』を参照。 周囲の明るさに合わせて自動で調整します。
録音	ビデオ録画時の音声記録を設定することができます。	オン(◆)／オフ	音声記録のオン／オフを設定します。
リアカメラ鏡像	リアカメラ映像の鏡像を設定することができます。	オン(◆)／オフ	リアカメラ使用時に映像の鏡像表示を設定します。
言語	表示言語を設定することができます。	・日本語(◆) ・Ｅｎｇｌｉｓｈ ・中文	日本語表示に設定します。 英語表示に設定します。 中国語表示に設定します。
ガイドライン	リアカメラ映像へガイドラインを表示することができます。	オン(◆)／オフ	車両後退時にリアカメラ映像へガイドラインを表示することができます。 ※詳細は、『6，各種設定機能説明　●ガイドライン』を参照。
ＧＰＳ位置情報	ＧＰＳの受信状況を確認することができます。		
バージョン	本商品のバージョン情報や内蔵バッテリーの充電状態を確認することができます。		
工場出荷設定値	設定を初期化することができます。	ＯＫ キャンセル	各種設定を初期化し、出荷時の状態に戻します。 初期化を中止します。

6，各種設定機能説明

●ＬＤＷＳ

ＬＤＷＳの運転サポートシステムは、車両が４５ｋｍ／ｈ以上で走行中に走行車線を逸脱した場合、音声アラームや液晶モニターのアイコン表示で警告します。

1) ＬＤＷＳの設定を、『オン』にしてください（『５，メニュー設定一覧』を参照)。
2) 走行モード画面表示中に車線を逸脱した際は、逸脱側の車線逸脱アイコンが赤く点滅し、音声アラームが鳴ります（図１７参照)。

※道路の車線状態によっては、運転サポートシステムが反応しない場合があります。
※車両速度は、本商品のＧＰＳユニットでの検知速度となり、車両の速度メーターとは誤差がある場合があります。
※液晶表示設定『オフ』時は、運転サポートシステムは機能しません。
※カメラ映像表示中は、音声アラームのみ機能します。
※ウィンカーと連動していない為、車線変更時に逸脱側の車線逸脱アイコンが赤く点滅し、音声アラームが鳴ります。

●ガイドライン

車両後退時にリアカメラ映像へガイドラインを表示し、車両周囲の距離感を把握することができます。

1) 液晶モニターにガイドラインを表示する場合は、配線の接続が必要となります。配線が正しくされていないと、ガイドラインは表示されません（『３，取付方法　●リアカメラ配線方法と取付方法』を参照)。
2) ガイドラインの設定を、『オン』にしてください（『５，メニュー設定一覧』を参照)。
3) シフトをリバースに切替えてバックランプが点灯すると、液晶モニターにリアカメラ映像とガイドラインが表示されます。
   ※リアカメラ映像は、通常より下方を表示する設定となっています。
4) 表示されたガイドラインは、上下左右任意の位置へ調整することができます。また、液晶モニターを指で縦にスライド操作することでリアカメラ映像の上下位置も調整することができます（図２４参照)。

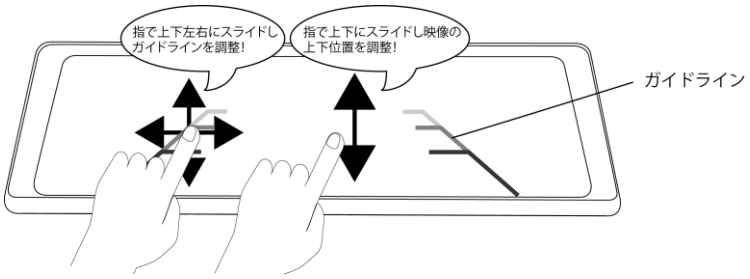


図２４

※上下位置調整後は、次回以降も同じ位置で表示されます。
※ガイドライン表示は、車両後方周辺の状況確認の補助手段として使用してください。

7，バックアップ方法

※microSD カードに保存されたファイルのバックアップは、定期的に作成してください。

1) カードリーダーなどを利用して microSD カード内のファイルをパソコンで読み込んでください。
2) 読み込み後、『ＣＡＲＤＶ』フォルダを開いてください。
3) 保存されたファイルを確認してください。
   全てのファイルが『ＣＡＲＤＶ』フォルダ内に保存されています。フォルダを開くと一覧で表示されます。
   ファイル名に関しては、『４，使用方法　●ファイルの再生　○フォルダ、ファイル名』を参照してください。
   ※パソコンでファイルにアクセスした場合、ファイル名の拡張子は表示されません。
4) 保存したいファイルをコピーし、パソコン内でバックアップを作成してください。

8，エラーメッセージ表示

・本商品使用中にエラーが発生すると、下記メッセージが表示されます。メッセージ内容を確認の上、対処してください。

表示メッセージ	原因	対処・内容
ＳＤカードを挿入されていません。ＳＤカードを確認してください。	本商品にmicroSDカードが挿入されていません。	microSD カードを挿入してください。 microSD カードが挿入されている場合は、本商品で認識できずエラーになっている可能性があります。新しい microSD カードへ交換してください。
リアカメラが接続されていません。	リアカメラセット未接続状態です。	リアカメラセットを使用している場合は、各種配線の接続を確認してください。
下記アイコンが表示される。 	駐車衝撃録画作動時に本商品にmicroSDカードが挿入されていません。	microSD カードを挿入してください。 microSD カードが挿入されている場合は、本商品で認識できずエラーになっている可能性があります。新しい microSD カードへ交換してください。

9，システムリセット方法

※本商品が何らかの影響で誤作動や、止まってしまった場合、システムリセットを行なってください。

1) ドライブレコーダー本体のリセットボタンを押してください。先の細いピン等を使用し、ボタンを押すとリセットされます（『１，セット内容と各部名称　●各部の名称と主な働き』を参照)。
2) 電源が切れて、再起動します。再起動後、正常に作動していることを確認してください。

１０,『ＤＶＲ　Ｐｌａｙｅｒ』に関して

Ｗｉｎｄｏｗｓパソコン専用の再生アプリケーションで、録画した映像の位置情報や車両速度などを交えてファイル内容を確認することができます。

●パソコン動作推奨環境

ＯＳ：Ｗｉｎｄｏｗｓ７以降　／　ＣＰＵ：ｉｎｔｅｌ　ＣＯＲＥ　ｉ５以降　／　メモリ：８ＧＢ以上

※地図情報表示には、インターネット環境が必要となります。

※ＭａｃＰＣには対応していません。

※セキュリティソフトにより再生アプリケーションをインストールできない場合があります。

※全てのパソコン、ＯＳでの動作保証をするものではありません。また、一部表示や機能が異なる場合があります。

※パソコンの処理能力や使用環境によっては、正常に再生・作動しない場合があります。

●『ＤＶＲ　Ｐｌａｙｅｒ』インストール方法

本商品で使用している microSD カード内に、自動的に再生アプリケーションデータが保存されます。

1)　カードリーダーなどを利用して microSD カードをパソコンで読み込んでください。

2)　読み込み後、『ＤＶＲ　Ｐｌａｙｅｒ　Ｖ２．０』再生アプリケーションデータを確認し、ダブルクリックしてください。

3)　ダブルクリックすると、インストール許可要求内容が表示されます（図２５参照）。
　　『はい』を選択してください。

4)　次に、セットアップ内容が表示されます（図２６参照）。
　　『Ｎｅｘｔ』を選択してください。

5)　次に、インストールフォルダー選択内容が表示されます（図２７参照）。
　　フォルダ選択後、『Ｎｅｘｔ』を選択してください。

6)　次に、インストール確認内容が表示されます（図２８参照）。
　　『Ｎｅｘｔ』を選択してください。

7)　選択後、図２９が表示されたのちに、変更許可要求内容が表示されます（図３０参照）。
　　『はい』を選択してください。

8)　選択後インストール作業が進み、インストール完了内容が表示されます（図３１参照）。
　　『Ｃｌｏｓｅ』を選択してインストールを完了してください。
　　インストール完了後、『ＤＶＲ　Ｐｌａｙｅｒ』のショートカットアイコンが作成されます（図３２参照）。

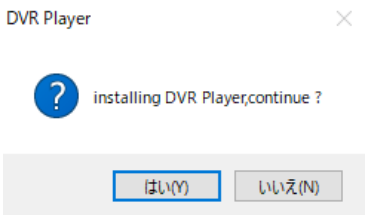


図２５

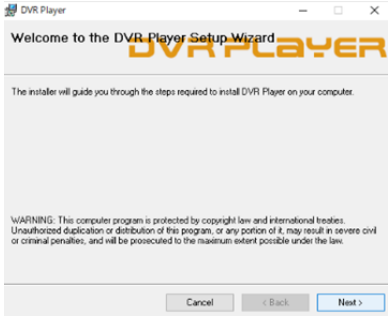


図２６

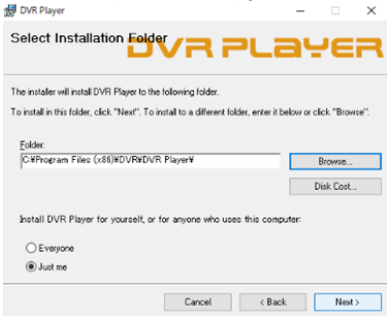


図２７

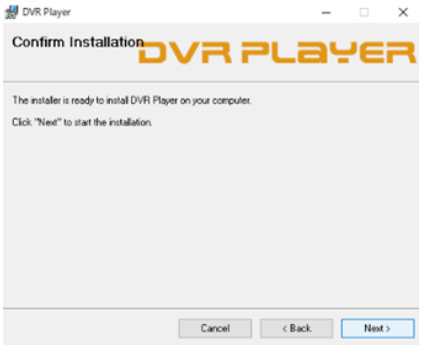


図２８

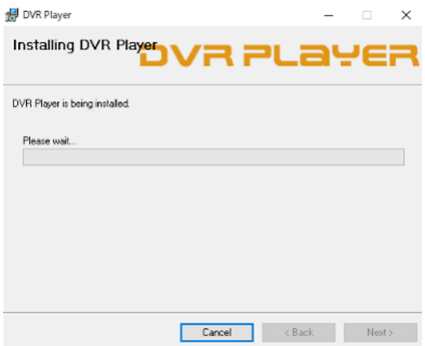


図２９

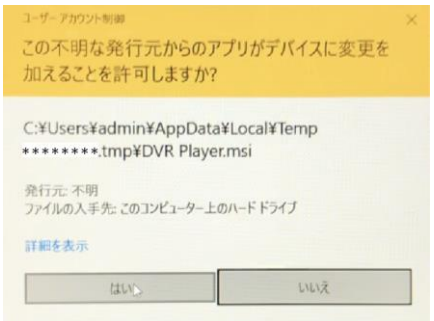


図３０

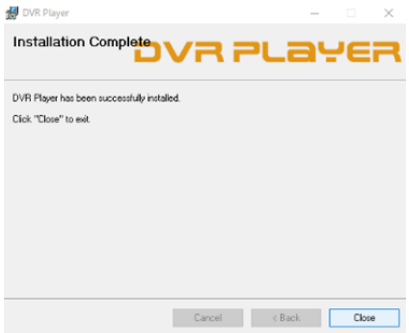


図３１

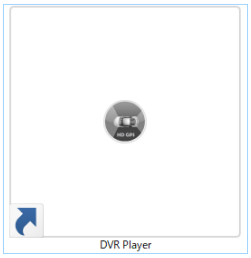


図３２

●『ＤＶＲ　Ｐｌａｙｅｒ』使用方法

○画面の操作について

図３３

①再生画面　　：再生画面を表示します。ダブルクリックすると再生画面のみを最大化表示します。
②スクロールバー　：クリック、ドラッグすることで任意の位置へ巻戻し、早送りすることが可能です。
③－　　：本商品では使用しません。
④地図情報表示　：地図上で車両の位置を確認することが可能です。
※ＧＰＳ未受信状態、ＧＰＳユニット未接続状態での映像記録や、パソコンがインターネット未接続状態時は表示されません。
⑤再生ファイル一覧　：再生ファイルを一覧で表示します。
ファイル名クリックし選択状態（青字）に、ダブルクリックで再生を開始します。
『Ｎｏｒｍａｌ』フォルダ内に記録されるファイル
・常時録画（ループ録画）
フロントカメラファイル：Ｍ＊＊＊＊Ａ．ＭＯＶ
リアカメラファイル　　：Ｍ＊＊＊＊Ｂ．ＭＯＶ
・動体検出録画
フロントカメラファイル：Ｖ＊＊＊＊Ａ．ＭＯＶ
リアカメラファイル　　：Ｖ＊＊＊＊Ｂ．ＭＯＶ
『Ｅｖｅｎｔ』フォルダ内に記録されるファイル
・衝撃録画／緊急録画／駐車衝撃録画
フロントカメラファイル：Ｓ＊＊＊＊Ａ．ＭＯＶ
リアカメラファイル　　：Ｓ＊＊＊＊Ｂ．ＭＯＶ
⑥再生ファイル情報　：撮影日、ファイル容量を表示します。
⑦速度表示　　：走行中の車両速度を表示します。
⑧方角表示　　：走行中の車両方角を表示します。
⑨ファイル取込みアイコン：再生したいファイルが入ったディスクにアクセスします。ファイルを選択すると、⑤再生ファイル一覧に表示されます。
⑩停止アイコン　　：ファイルの再生を停止します。
⑪スキップアイコン　：再生リスト内の１つ前／１つ後のファイルに移動します。
⑫コマ送りアイコン　：１秒ずつ前／後にコマ送りします。
⑬再生／一時停止アイコン：ファイルの再生／一時停止します。
⑭キャプチャーアイコン　：再生中の画面を画像ファイルとして保存します。
⑮保存アイコン　　：動画ファイルに名前をつけて任意の場所に保存します。
⑯－　　：本商品では使用しません。

○画面の操作について

1) カードリーダーなどを利用して microSD カードをパソコンで読み込んでください。
2) 『ＤＶＲ　Ｐｌａｙｅｒ』のショートカットアイコンをダブルクリックしてください（図３２参照）。
3) ダブルクリックすると、『ＤＶＲ　Ｐｌａｙｅｒ』のアプリケーションが起動します（図３４参照）。
4) ⑨ファイル取込みアイコンをクリックし、microSD カードのディスクを選択し、『ＯＫ』を選択してください（図３４、３５参照）。
5) ⑤再生ファイル一覧にファイルがアップされ、ファイル名をダブルクリックすると再生が開始します（図３６参照）。

図３４

図３５

図３６

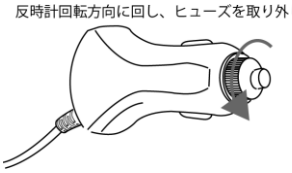
１１，注意事項

⚠危険（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う事になるもの。）

1. **運転中は、本商品の操作を絶対にしない**でください。また**液晶モニターを注視しない**でください。交通事故、交通違反の原因になります。操作をする場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
2. **本商品、及び配線等は、運転者の視界や運転操作の妨げになる場所に設置しない**でください。また、正しく確実に取り付けしてください。正しく取り付けされていない場合、交通事故の原因になります。
3. 本商品の電源電圧は、**ＤＣ１２／２４Ｖ**です。その他の電圧で使用すると火災や感電、故障の原因となります。
4. **電源プラグ付き電源コードを切断して使用しない**でください。本商品は電源プラグ内で変圧しています。
5. 本商品を**エアバッグが作動する近くに設置しない**でください。事故発生時にエアバッグが正常に作動しない恐れがあります。また、作動したエアバッグによりケガの原因となります。
6. 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。電波により、何らかの影響を与える恐れがあります。
7. **道路運送車両法を遵守**して、本商品の取り付け、使用を行なってください。

⚠警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は、重傷を負う危険性があるもの。）

1. 本商品の取り付けは、必ず車両のエンジンを切った状態で行なってください。車両のキーがＯＮの状態で取り付けると、感電および故障の原因となります。
2. 各種コード及びケーブルを傷付けたり、加工したり、無理に折り曲げたり引っ張ったりしないでください。感電及び火災の原因となります。また、束ねた状態で使用しないでください。
3. **本商品の内部に金属や異物を入れない**でください。火災や感電、故障の原因となります。
4. ルームミラーモニターは防水仕様ではありません。屋外には設置しないでください。
5. 水が掛かる様な場所や埃が多い場所では、使用しないでください。接触不良により、感電及び火災の原因となります。
6. 本商品を取り付けする際は、必ず付属部品を使用してください。
7. 本商品の分解、修理、改造は、絶対にしないでください。故障の原因になります。
8. 本商品の作動に異常（異常な音や臭い／煙／破損／水や異物の混入／作動不良等）がある場合は、直ちに使用を中止してください。火災などの原因となります。
9. ルームミラーモニターの**動作温度範囲は－３０℃～７０℃、保管温度範囲は－４０℃～８０℃**、リアカメラの**動作温度範囲は－２０℃～７５℃、保管温度範囲は－３０℃～８０℃**です。その他の温度で使用、保管すると、製品の変形及び、火災、爆発の原因となります。夏場の駐車時は、サンシェードなどで車内温度上昇を防いでください。
10. 本商品の表面はシンナー、アルコール、ベンゼンなどの揮発性物質または有機溶剤で拭かないでください。表面の変質や塗料が剥げることがあり、故障及び火災の原因となります。
11. ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させないでください。表面の変質や塗料が剥げることがあり、故障及び火災の原因となります。また紫外線の影響で変色や変質などの劣化が起きることがあります。
12. 電源プラグ付き電源コード、又は電源プラグ付き電源コード接続ソケット周辺等の埃や汚れはよく拭いて取り除いてください。接触不良による感電及び火災の原因となります。
13. 電源プラグ付き電源コードの電源プラグは、車両のアクセサリーソケットへ奥まで確実に差し込んでください。確実に差し込んでいない場合、接触不良で発熱し電源プラグが破損する恐れがあります。
14. 電源プラグ付き電源コードを接続しても、本商品の電源が入らない場合は、電源プラグ先端を半時計回転方向に回して取り外し、ヒューズを確認してください。
    ヒューズが溶断している場合は、新しいミニ管ヒューズ（４Ａ／２５０Ｖ）に交換してください。必ず**規定容量のヒューズと交換**してください。



15. 本商品は、車両のアクセサリーソケットで**単独使用**してください。増設ソケットなどで、複数の電化製品と同時使用しないでください。
16. 本商品を使用及び取り付ける機器（乗用車、トラック、各種電源等）の取扱説明書も合わせてご確認の上、使用してください。

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又は、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

1. 車両のエンジンを停止した状態で、本商品を使用しないでください。バッテリーが消耗する原因になります。
2. 濡れた手で本商品の操作、配線作業をしないでください。感電、ショート、火災の原因になります。
3. 本商品に強い衝撃を与えないでください。衝撃により製品の破損や故障の原因となります。
4. 液晶モニターのタッチパネルに過度な力を加えないでください。
5. **本商品の近くに磁気性がある物を置かない**でください。製品の誤作動及び故障の原因となります。
6. 本商品の近くにＧＰＳ搭載の他製品は設置しないでください。誤動作を起こす場合があります。
7. テレビアンテナやレーダー探知機等の電気製品を設置している付近に本商品を取り付けると、電波の干渉により録画/撮影されたファイルにノイズが発生、ファイル損失する恐れがあります。この様な場合は、本商品と離して設置する事でノイズが軽減されます。
8. ダッシュボードの形状や材質、色付きガラス、劣化した車体や内装の表面、及び清掃等で使用した洗浄剤や艶出剤等の様々な影響で、microSD カードに録画/撮影されたファイルが歪んだり、反射光が映り込んだり、暗くなる恐れがあります。
9. 急激に明るさが変化する場合や逆光が強い場合、夜に光源がない場合等の条件下では録画品質が落ちる恐れがあります。
10. 天候や時間帯等の周囲の状況によっては、車両前後方の状況を正しく認識できない恐れがあります。
11. 暗い環境では、なるべく高画質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプを点灯させてください。
12. フロントガラス表面や本商品のフロント／リアカメラレンズの表面はいつもキレイにしておいてください。

13. 液晶が汚れた際は、付属のクロスで拭き取ってください。
14. リアガラスにプライバシーガラスを採用している車両でリアカメラを車内に取り付けた場合、夜間の録画品質が落ちる恐れがあります。
15. リアカメラの取付位置によっては、自車・後続車の灯火類により映像が確認しにくい場合があります。
16. **ＬＥＤ方式の信号機では、点滅しているように撮影されたり、ちらついたりする恐れがあります。**また、色の識別ができない恐れがあります。それにより生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
17. 本商品は車両に取り付けて使用するドライブレコーダー及びリアカメラです。その他の用途には使用しないでください。
18. 本商品は日本国内仕様です。海外では使用しないでください。
19. 本商品は**自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。**
20. 本商品はすべての状況下で録画を保証するものではありません。
21. 本商品はＧセンサーで衝撃を感知して事故発生前後の録画/撮影されたファイルを記録しますが、全ての状況において記録を保証するものではありません。
22. 本商品の故障や使用による損害、また録画/撮影されたファイルの破損や損傷によって生じた損害は、当社は一切の責任を負いません。
23. 本商品で録画/撮影された被写体等は、プライバシーの侵害となる恐れがあります。取り扱いにご注意ください。
24. 万一の故障による、本商品の取り外し費用、及び再取り付け費用は、お客様のご負担になります。予め、ご了承ください。
25. 本商品は予告なく仕様変更する場合があります。予め、ご了承ください。
26. 本商品の各機能は、設定・設置状況・microSD カードの状態・走行環境(路面状況等)の影響により、正しく作動しない恐れがあります。
27. 本商品で撮影できる範囲には限界があります。予め記録される映像を確認の上、ご使用ください。
28. microSD カードは、必ず本商品の電源が切れていることを確認してから取り外してください。
29. 初めて使用する際は、必ず本商品を使用して microSD カードのフォーマットを行ってください。
30. microSD カードに保存されたファイルは、バックアップして、**定期的（1 週間に 1 回推奨）に本商品を使用してフォーマットしてください。**外部環境、又は長期間使用している間に、ファイルが消去される恐れがあります。
31. microSD カードをフォーマットする時は、必ず microSD カード内の必要なファイルを、パソコンのハードディスク等に保存してください。フォーマットをすると、microSD カード内の全てのファイルが消去されます。
32. ファイルのフォーマット及び動作中には microSD カードの抜き差しをしないでください。記録したファイルの損傷、本商品破損の原因になります。
33. microSD カードをフォーマットする際は、必ず本商品のフォーマット機能を使用してください。
34. 本商品で使用する microSD カードに他のファイルを保存したり、他の機器に使用しないでください。正しく作動しなくなる恐れがあります。
35. 市販品の新しい microSD カードを使用する時は、最初に本商品を使用してフォーマットしてください。
36. 市販品の microSD カードを使用した場合による、本商品の動作異常に関して、当社では一切の責任を負いません。
37. microSD カードに保存されたファイルが何らかの原因により破損や消去された場合、当社では一切の保証、復元は出来ません。予め、ご了承ください。
38. microSD カードには寿命があります。長期間使用していると正常な録画ができない恐れがあります。不具合が発生した場合は、新しい指定の microSD カードと交換してください。
39. microSD カードは消耗品の為、保証対象外となります。
40. 本商品は、８ＧＢ～１２８ＧＢ、Ｃｌａｓｓ１０の microSD カードに対応しています。但し、全ての microSD カードに対して動作を保証するものではありません。
41. 本商品はリチウムポリマーバッテリーを内蔵しています。不要になった商品は、一般のゴミと一緒に捨てずに、リサイクル協力事業者等の回収拠点までお持ちください。
42. アクセサリーソケットの形状により、取り付けできない車種があります。ご了承ください。

Pa-man 株式会社パーマンコーポレーション　フリーダイヤル　０１２０－２０２－８００

〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５　ホームページ　https://Pa-man.shop/